

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 471

政策体系	15	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 商工観光課
会計	一般会計	科目	7. 商工費 - 1. 商工費 - 2. 商工振 現年		
事業名	京都新光悦村推進事業				
細事業名	京都新光悦村推進事業				
				評価表作成者	農林商工部 商工観光課 橋本 千代

1. 事業の概要

企業誘致の促進により地域経済の振興や地域雇用の促進を図るため、南丹市京都新光悦村企業立地促進条例に基づき、企業立地奨励金及び雇用促進奨励金を交付する。

京都府と連携し京都新光悦村を市内外にアピールする取り組みを行ない誘致促進に繋げる。また、立地及び立地表明企業の交流を深める場を設け、京都新光悦村のコンセプトである「伝統と先端の融合による新しい生活文化産業の創造」の実現に向けた仕組みづくり・組織づくりを行なう。

未分譲地（京都府所有）及び市管理公共用地の草刈・点検等の管理業務を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

京都新光悦村のコンセプト（伝統と先端との融合）に適合する企業立地の推進に取り組むことで、京都新光悦村ブランドの確立、地域雇用の促進、地域経済の活性化を目指す。

② 事業を実施する必要性

進出企業に対しインセンティブを与えることにより企業立地を促進する。京都府と連携し、京都新光悦村のコンセプトを広く周知する取り組みを行うことにより、コンセプトに適合する優良企業の誘致、新光悦村ブランドの確立、立地企業等の交流を深めることができる。また、宅盤維持管理による環境美化は村のイメージアップのため必要。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画	
決算額または計画額	千円	2,587	14,891	16,692	39,159	38,688	35,610	25,891	
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0	
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	18	16	16	2,518	2,518	2,518
	国・府支出金	千円	2,407	2,492	4,326	2,239	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	180	12,381	12,349	36,904	36,170	33,092	23,373
職員等の従事人員	人/年	—	0.80	0.72	0.60				
人件費	千円	—	5,914	5,264	4,456				
事業費総額	千円	—	20,805	21,955	43,615				

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

京都新光悦村宅盤維持管理：京都府宅盤（委託料）2,238,600円
 京都新光悦村環境整備：市有地（委託料）147,000円
 企業立地奨励金（補助金）34,608,370円
 雇用促進奨励金（補助金）1,800,000円（補助金）
 京都新光悦村フォーラム実行委員会300,000（負担金）

5. 事業結果の概要

企業立地奨励金の交付 7社
 雇用促進奨励金の交付 2社
 京都府宅盤維持管理業務（草刈） 1回
 京都府宅盤維持管理業務（点検） 52回
 市有地環境整備（竹伐採・木伐採） 2回
 京都新光悦村秋まつり 10月31日

6. 活動の詳細

【京都新光悦村フォーラム講演会】㈱くろちく社長による講演会を実施。対象者は京都伝統工芸大学校学生。	平成22年11月17日	伝統工芸を学ぶ学生達に黒竹社長や㈱くろちくの実践事例を通し、伝統工芸や伝統文化の可能性について考えてもらう機会となった。
【市有地】京都新光悦村内の自然林の整備（枯竹・枯木の伐採等）を行った。	平成22年5月7日～6月4日 平成22年7月26日～7月27日	自然林等の整備により、村内遊歩道の安全な通行の確保や周辺住宅への被害を防ぐことができた。
(1) 奨励金		
【企業立地奨励金】7社（合計34,608,370円） （内訳）マルホ発條工業㈱（6,045,120円）、春日製作所㈱（3,455,600円）、佑斉工房（117,360円）、㈱ツリーベル化成（633,690円）、㈱井筒八ツ橋本舗（4,791,900円）、㈱クリスタル光学（19,411,000円）、大澤木工房（153,700円） 【雇用促進奨励金】2社（合計1,800,000円） （内訳）マルホ発條工業㈱（300,000円）、春日製作所㈱（1,500,000円）	申請により随時	立地企業の安定的な事業運営に資することができた。市民の雇用促進に繋がった。
(2) 維持管理		
【京都府宅盤】京都府からの委託により、宅盤等維持管理業務（草刈・点検）を実施。	草刈（平成22年4月1日着手、12月7日完了） 点検（平成22年4月～平成23年3月の間52回）	草刈業務により、環境・景観整備ができた。 点検業務により、宅盤の適切な管理ができた。
(3) 誘致促進PR及び会社訪問		
京都府と連携し、企業誘致活動を行なった。	随時	平成22年度中の進出企業2社（studio4416、㈱三浦商会）*平成23年度中に操業予定
(4) 京都新光悦村フォーラム実行委員会による活動		
【秋まつり】京都新光悦村の村開き1周年を記念して、京都府・南丹市・京都新光悦村の会・京都伝統工芸大学校で組織する「京都新光悦村フォーラム実行委員会」により、秋まつりを開催。（内容：立地企業紹介展示、立地企業による出店・工場見学等、作品展示、地元関係者出店など）	平成22年10月31日	南丹市内外の方に新光悦村の存在を知っていただくことができた。 企業と地元区民との交流が図れた。

7. 所属長評価【平成20年度から改善した点、今後の展開など】

地域経済の活性化や地元雇用の促進を図る観点から有効な事業である。本事業の基礎となる京都新光悦村企業立地促進条例の期限が平成24年3月末であり、新たな奨励措置の検討が必要となっている。
村開き1周年を記念して、京都府、南丹市、京都新光悦村の会、京都伝統工芸大学校で「京都新光悦村フォーラム実行委員会」を組織し、10月31日に秋祭りを開催。立地企業の紹介、展示、工場見学などにより新光悦村の存在を市内外の方に知ってもらうことができた他、一番重要な地元区民との交流が図れた。引き続き、継続した取組みとなるよう調整が必要。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

京都新光悦村への企業誘致により、地域経済の活性化や地域雇用の促進を図る観点から有効な事業であった。
更に未分譲地の環境・景観整備として実施した、草刈等により適正な管理を行なうことができた。
また、進出企業7社、進出表明企業3社による「京都新光悦村の会」が発足し、村開き式典も実施。企業間や企業と市民・行政等との連携により新しい産業拠点として期待が高まる。

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
どうすれば効率的に企業の誘致が図れ、進出企業に対し地元雇用の促進が図れるか について論議した。
②当該事業のアピール事項
伝統産業と近代産業の融合による新しいものづくり産業拠点として、他にはない魅力を発信。優良企業の誘致・地元雇用の促進・企業間や企業と市民・行政等によるコラボなど新展開に期待できる。
③反省点、今後の展開・方向性等
分譲区画の早期売却。進出企業による京都新光悦村の管理・運営及び情報発信。